

2022年1月14日

株式会社三菱UFJ銀行

福岡市が発行するグリーンボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、本日、福岡市が発行する「福岡市2021年度第9回公募公債（グリーンボンド・10年）」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券の発行により調達された資金は、グリーンビルディングや気候変動への適応、クリーンな輸送に関連した事業等に充当されます。

なお、本債券は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、セカンド・パーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「グリーンボンド原則2021^[1]」および環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン2020年版^[2]」に適合していると認められております。

当行は、本債券への投資を通じ、今後も環境事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘柄	福岡市2021年度第9回公募公債（グリーンボンド・10年）
年限	10年
発行額	50億円
発行日	2022年1月25日

^[1] 国際資本市場協会（ICMA）が定義する「グリーンボンド原則2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-bond-principles-gbp/>

^[2] 環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン2020年版」は以下をご参照ください。

<https://www.env.go.jp/press/107803.html>

以上